

迅速に生分解性プラスチックを堆肥化する「環境と人に優しい コーヒー粕由来の農業用資材開発プロジェクト」研究部会

(R6)

四国ケージ株式会社 合同会社liveR 株式会社wead 愛媛大学、愛媛県産業技術研究所

海洋プラ問題などの観点から社会実装が進むプラスチック代替製品等を迅速に分解するため、コーヒー粕をベースとした新たな分解資材を開発しました。

開発品を用いた分解試験



試食用小皿



投入直後



4時間後



24時間後



もみ殻



投入直後

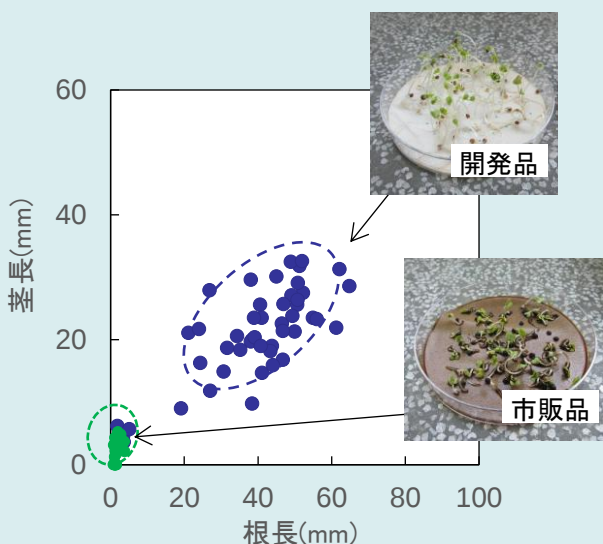


12時間後



24時間後

コマツナ発芽試験(3日目)



ポイント①

土壌埋設試験で分解に6ヶ月以上かかるプラスチック代替製品(高密度厚紙やPBS製カトラリー)や農業廃棄物(もみ殻)を**24時間以内に分解**することができます。

ポイント②

プラスチック代替製品分解後の分解資材を用いたコマツナ発芽試験では**発芽阻害はみられず**、含有成分を生かした土壌改良材として利用できます。

今後は、更なる実証実験等を行いながら、新たな土壌改良材の商品化・販路開拓及びカーボンクレジット化を視野にいたした堆肥化技術の脱炭素アップサイクルシステムの構築に取り組む予定です。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
「この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています」